

# 三木市自転車活用推進計画【概要版】

## 計画策定の趣旨

### 計画策定の背景及び目的

自転車は、買い物や通勤通学など日常生活における身近な交通手段としてだけでなく、健康志向の高まりや環境に優しい乗り物として多くの人に利用されています。また、サイクリングなどのレジャーとしての自転車利用も広がりつつあります。

このような中、国においては、環境負荷の低減、災害時の交通機能の維持、国民の健康増進などの課題に対応するため、自転車の活用を推進する「自転車活用推進法」を2017(平成29)年5月に施行するとともに、同法に基づき、2018(平成30)年6月に「自転車活用推進計画」が閣議決定されるなど、自転車活用の機運が高まっています。また、兵庫県においては、2020(令和2)年3月に「兵庫県自転車活用推進計画」が策定されています。

こうした流れを捉え、本市においても、自転車の通行環境の整備の方針を示した「三木市自転車ネットワーク整備計画」を2020(令和2)年2月に策定しました。これに加えて、自転車利用に当たっての安全意識の醸成や地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進、サイクリングなどによる健康増進等を総合的かつ計画的に推進するため、「三木市自転車活用推進計画」を策定することとしました。

### 計画の区域

●三木市内全域(約176.5km<sup>2</sup>)

### 計画期間

●2021(令和3)年度～  
2030(令和12)年度の10年間

## 現状と課題

### 幅広い世代が安全・快適に利用できる自転車通行空間の整備

市内南部の市街地周辺で、自転車の利用が多いことから、日常生活などで安心して利用できる自転車通行空間の整備が必要となります。また、需要に応じた駐輪場の維持やまちづくりと連携し、自転車を気軽に利用できる環境づくりが必要となります。

### 自転車事故減少に向けた安全意識の醸成

市内での自転車事故は少ないものの、増加傾向にあり、特に南部の市街地周辺などにおいて、ヒヤリハット地点が多くあります。小中学生や高校生等の学生に加えて、事業所や外国人労働者に対しても、安全教育の推進や交通ルールの周知などを行い、自転車利用者の安全意識を醸成していく必要があります。

### 観光など新たな自転車需要の創出

本市には兵庫県を代表する広域の「ひょうごサイクリングモデルルート」として「はりまの里スーパーロングライドコース」があることから、自転車利用の受入環境を整えていくとともに、商業や観光事業との連携による多彩な観光資源を活かした自転車の利用推進を図る必要があります。

### 市民の健康増進に向けた自転車の活用推進

本市は県下で健康寿命が比較的長いものの、日常的に自転車を使う機会が少ないことから、健康増進に向けた若年期からの体づくりが必要です。このため、日常的な自転車利用の推進が必要です。また、通勤等で自転車を活用することで、さらなる環境負荷の軽減を図っていく必要があります。

## 将来像と基本方針

### 将来像 自転車文化を育み 安全・快適で楽しくまわせる(走れる)まち三木

基本方針 自転車の特性を活かしながら様々な用途で自転車を活用して、三木市の活力と魅力を高めるため、安全・安心な自転車通行環境の整備及び交通安全意識の醸成、サイクルツーリズムの推進、市民の健康増進や環境負荷の軽減を目指す。



## 目標

### 目標1

#### 快適に 幅広い世代が自転車を安全・快適に利用できる自転車通行環境の整備

- 自転車通行空間の整備等により、自転車ネットワーク路線をはじめとする自転車需要の多い路線において、自転車や歩行者等が安全で快適に通行できる環境を整備する。
- 幅広い世代が自転車を利用しやすい環境を整備するため、駐輪施設の適正配置や利用しやすいレンタサイクルの設置等を検討するとともに、自転車放置防止に取り組む。

### 目標2

#### 安全に 自転車利用の安全意識の醸成

- 小中学校や高校、事業所などでの適切な交通安全教育や、兵庫県警察による交通取締りを実施することにより、自転車・自動車・歩行者が互いの特性や交通ルールを理解し、誰もが安心して通行できる環境を整える。
- 自転車通行空間の整備に合わせて、通行方法等に関する交通ルールの周知・啓発を図る。
- ヘルメット着用の促進や自転車保険加入、適切な点検周知などによる、自転車利用者の安全意識の醸成を図る。
- 災害時に備えて自転車の活用を推進し、緊急時において柔軟に対応できる体制を整える。

### 目標3

#### 楽しく 観光資源を活かしたサイクルツーリズムの推進による交流機会の創出

- ロングライドコースをはじめ、本市の多彩な観光資源を手軽に楽しめるポタリングコースなど、サイクリストの多様な志向に応じた自転車通行環境を提供する。
- 官民連携によりサイクリストの受入態勢を整えることで、サイクルツーリズムを通じたまちの魅力向上や自転車のまちとしての本市の知名度向上を図る。
- 国内外のサイクリストが広域圏でのサイクルツーリズムを享受できるようにし、サイクリスト向けのイベントや様々な情報を発信していくことで、交流人口の拡大と地域経済の活性化により、地域活力を向上させる。

### 目標4

#### 健やか 自転車利用の促進による市民の健康増進と環境負荷の軽減

- 日々の活動において、健康増進の方法としての自転車の有効性や認知度の向上を図り、自転車を選択しやすくなる生活スタイルの定着により市民の健康増進を目指す。
- 自転車利用の促進による環境負荷の軽減を目指し、環境負荷の大きい自動車利用から自転車への転換を促す啓発活動などの取組を行う。

## 取組施策

施策1 自転車通行空間の整備

施策2 啓発などによる自転車通行空間の確保

施策3 駐輪場の適正配置及びレンタサイクルの検討

施策4 ライフステージに応じた交通安全教育の推進

施策5 安全な自転車利用の啓発

施策6 適切な自転車点検整備の周知

施策7 災害時での自転車活用の検討

施策8 サイクリングルートの整備と走行環境の整備推進

施策9 利用ニーズに応じた受入体制の環境整備

施策10 サイクリストに向けたイベント開催及び情報発信による誘客

施策11 自転車利用の促進を通じた健康づくりと環境保護活動の推進



# 三木市自転車活用推進計画【概要版】

## 取組施策の概要

### 目標1 通行環境 快適に

幅広い世代が自転車を安全・快適に利用できる自転車通行環境の整備

自転車通行空間の整備延長

【実績値】0km (2019年度末)

【目標値】8.31km

#### 施策1 自転車通行空間の整備

##### ① 自転車通行空間の整備推進

自転車ネットワーク路線の整備事業計画



短期整備計画  
(今後10年の間に整備を目指す路線)  
整備検討区間  
(当面は現道を活用し、短期整備計画の整備の状況を踏まえ、今後検討する路線)  
モデルルート(協議等の整備)

基本的な整備形態



##### ② 適切な規制案内・設置運用

##### ③ 路肩整備の実施と無電柱化の検討

##### ④ 生活道路対策の推進

路面標示での自転車注意喚起の事例



#### 施策2 啓発などによる自転車通行空間の確保

##### ① 自動車運転者への適切な取締り・啓発の実施

##### ② 自転車放置防止の推進

#### 施策3 駐輪場の適正配置及びレンタサイクルの検討

##### ① 駐輪場の適正配置

駐輪施設の整備状況



##### ② レンタサイクルの整備検討

### 目標2 安全・安心 安全に

自転車利用の安全意識の醸成

自転車関連の交通安全教室の受講者数(年平均)

【実績値】4,609人 (2016~2019年4年間の平均)

【目標値】5,000人

#### 施策4 ライフステージに応じた交通安全教育の推進

##### ① 交通安全教育の推進

交通安全教室の開催状況  
(三木特別支援学校)



出典) 三木特別支援学校ホームページ

高齢者のドライバースクール  
の開催状況



#### 施策5 安全な自転車利用の啓発

##### ① 通行ルールの周知・啓発等による安全意識の醸成

##### ② 自転車の安全利用に向けた支援

##### ③ 指導・取締りの実施

##### ④ 自転車保険への加入促進

兵庫県発行の自転車保険チラシ



出典) 兵庫県ホームページ

兵庫県発行の通行ルール啓発チラシ



出典) 兵庫県ホームページ

#### 施策6 適切な自転車点検整備の周知

##### ① 自転車点検整備の啓発

自転車点検整備に関する啓発活動の様子



出典) 神戸新聞(2020[令和2]年12月15日)

#### 施策7 災害時での自転車活用の検討

##### ① 災害時での自転車活用の検討

### 目標3 観光・交流 楽しく

観光資源を活かしたサイクルツーリズムの推進による交流機会の創出

サイクルステーションを整備する施設の利用者数(年間)

【実績値】道の駅みき:33万人/山田錦の館:41万人(2018年度)

【目標値】道の駅みき:34万人/山田錦の館:42万人(整備後)

#### 施策8 サイクリングルートの整備と走行環境の整備推進

##### ① 東・北播磨「はりまの里スーパーロングライドコース」の整備

別所ゆめ街道「香の小径」(整備イメージ)



別所ゆめ街道に広がる酒米山田錦の田園風景



※) 自然色舗装

##### ② 広域連携によるサイクリングコースの設定

地域の多彩な資源をめぐるポタリングコースのイメージ



##### ③ サイクリングコースにおける道路サインの整備

#### 施策9 利用ニーズに応じた受入体制の環境整備

##### ① サイクリストが快適に利用できる受入環境の整備

サイクルステーション整備イメージ



##### ② 公共交通機関との連携によるサイクリストの誘致

#### 施策10 サイクリストに向けたイベント開催及び情報発信による誘客

##### ① 自転車イベント開催による交流促進

##### ② 多様なツールを用いた情報発信

利用するツールのイメージ



### 目標4 健康・環境 健やか

自転車利用の促進による市民の健康増進と環境負荷の軽減

健康寿命

【実績値】男性:80.34歳/女性:84.67歳(2015年)

【目標値】男性:80.84歳/女性:85.17歳

#### 施策11 自転車利用の促進を通じた健康づくりと環境保護活動の推進

##### ① 健康づくりに向けた自転車等の活用

##### ② 環境負荷軽減に向けた自転車の活用

情報発信等による自転車利用の促進イメージ



## 計画の推進について

本計画で示した取組については、各関係者が連携して「Plan(計画)」、「Do(実施)」、「Check(評価)」、「Action(改善)」による「PDCAサイクル」の考えに則り、取組の実施状況や効果について検証し、検証結果に基づいた見直しを行っていきます。このPDCAサイクルを推進していくことによって、将来像の実現を目指します。

PDCAサイクルのイメージ



お問い合わせ

三木市 都市整備部 道路河川課  
産業振興部 観光振興課

TEL. 0794-82-2000

FAX. 0794-82-9625

E-mail.

(道路河川課) doro@city.miki.lg.jp

(観光振興課) kanko@city.miki.lg.jp



酒米山田錦キャラクター「いなたろう」